



小樽商科大学 広報誌 Hermes courrier

ヘルメス・クーリエ

2009. November

No. 24

創立百周年記念
特集：商大の花・商大の樹木
候補決定1



▲中村善策「緑丘回想」

- 百周年コラム4 3
 - 合宿研修施設の建替え決定!
 - 史料展示室をリニューアルします
 - 創立百周年記念募金推進会議発会式を開催
- ゆめぼーとライブ
 - 第3弾「会計と歴史と言語」(久野光朗本学名誉教授)
 - 第4弾「D.H.ロレンスと『チャタレー夫人の恋人』」
(豊国孝本学名誉教授)
- 第8回 一日教授会が開催されました4
- 小樽商科大学地域研究会が発足しました
- プレ創立100周年記念事業シニアアカデミー2009を開催しました5
- 商大生頑張ってます! Part 36
 - 学生オリジナル商品開発
 - 世界一への挑戦を全国に発信!
 - 「将棋学生名人戦」で優勝!
- INFORMATION7

創立百周年記念



商大の花・商大の樹木 候補決定

平成23年、小樽商科大学は創立百周年を迎えますが、これまで大学の花や大学の樹木が定められたことはありませんでした。そこで、百周年を記念したキャンパス美化事業の一環として、これからの小樽商科大学のイメージシンボルとなる植物を選定することとなり、この度、候補となる花と樹木が決定しました。今回はその経緯と選定理由を紹介いたします。

候補の花8種



●エンゴサク

青色の花が商大の春を告げる野草。正門下に流れる古笥川の雪解け水が収まる頃、川べりの斜面一面に可憐な花を咲かせます。

●ツツジ



小樽市の花でもあります。正門から講義棟へ向かう坂道の両側に、ドウダンツツジやラベンダーと交互に植えられ、白やピンクの花を咲かせます。

●ラベンダー



北の国の短い夏を象徴する花。風にそよぐ紫色の花を見ていると、どうしてもあの有名なドラマのBGMが浮かんできます。すがすがしい空気に甘い香りが漂います。



●スズラン

北海道の代表的な花の一つで、応援歌にも「北斗の星の燦めきて 鈴蘭の花薫る地に…」とあります。晩春の一時期、総状の白い小花が芳香を漂わせます。

●ドウダンツツジ



春に小さな花を多数咲かせ、秋には真っ赤に紅葉します。枝分かれする形から「灯台躑躅」と書かれ、また、白い花が咲きほころぶ様子から「満天星」を充てることも。



●アジサイ

事務棟横から掲示室に通じる道の目立たない斜面に、ひっそりと、しかし豪華に青紫の花を咲かせます。



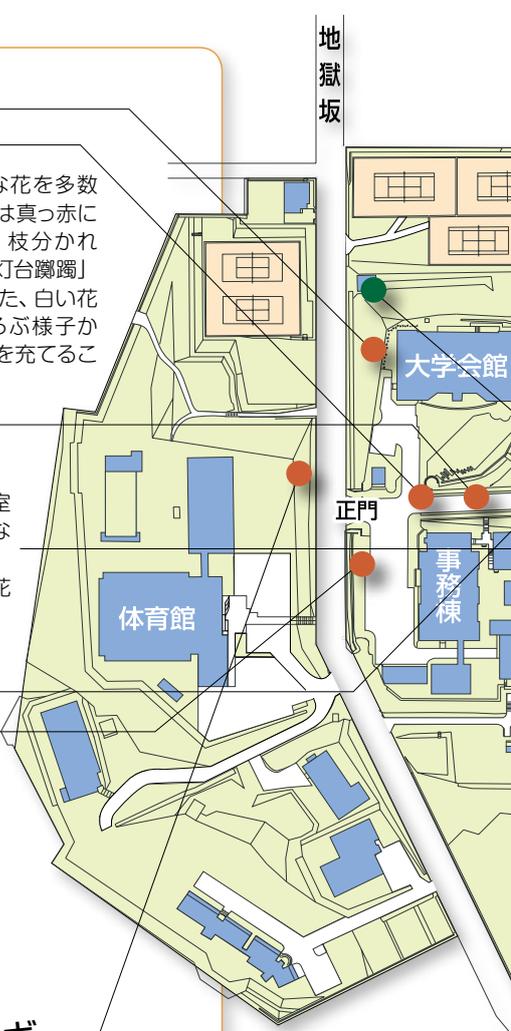
●ヒマワリ

正門のまわりに植えられていて、真夏の暑い日に汗をかいて地獄坂を登ってくる学生や、オープンキャンパスに来てくれた高校生達を、笑顔で迎えてくれているようです。



●ハギ

市道から体育館に通ずる斜面に植えられており、秋、紅紫色の花を多数つけ、自分の重さで枝が垂れるほどです。



商大の花と樹木の選定は、大学創立百周年を祝う記念事業のひとつである記念植樹の一環として、2年前から検討が始められました。以来、いくつもの案が出されましたが、もっと時間をかけ幅広く意見を募ることで、小樽商科大学のイメージシンボルとして相応しいような花と樹木が選定されるよう、候補を集めることとなりました。

候補の選定にあたっては、百年史編纂室の協力をうけ、校歌、寮歌に記載されているもの等、小樽商科大学に関わりのある花や樹木の調査を行い、また、教職員や卒業生からの意見を参考に、種々検討してきました。こうして集まった商大に縁のある多くの植物のなかから、今回、スクールシンボルの候補として、8種類の花、5種類の樹木が選ばれました。

小樽商科大学の花の候補としては、これからキャンパスに植栽が予定されているもののなかから、エンゴサク、スズラン、アジ

サイ、ハギが選ばれています。スズランは応援歌の歌詞にもなっています。また、花だけでなく紅葉も美しいドウダンツツジ、小樽市の花でもあるツツジ、北海道の風景によく合うラベンダー、明るいイメージのヒマワリも候補として挙げられています。

小樽商科大学の樹木の候補には、構内に多数植栽されており赤い実の鮮やかなオンコ、同じくキャンパスでの植栽本数が多く、若人逍遥の歌の歌詞にも載っているエゾヤマザクラ、北海道の冬景色によく合い、色鮮やかなナナカマド、街中から大学へと至る地獄坂を通る際に香りの漂うアカシア、校歌、寮歌などの歌詞にもあり、小樽市の樹木でもあるシラカバが選ばれています。

これらの候補は、今冬中に大学ホームページに掲載され、学生、教職員、卒業生の投票を受け、最終的に小樽商科大学の花と樹木がそれぞれ選定される予定となっております。

候補の樹木5種

● オンコ
別名イチイ。図書館横等、構内に数多く植えられた常緑樹。赤い小さな実はねっとり甘い。でも、その味を知らない学生も増えてきたようです。

● エゾヤマザクラ
構内にはエゾヤマザクラを始め、数種類の桜があり、多くは卒業生の記念植樹です。満開の桜の下で繰り広げられる花見の宴は昔も今も変わりはありません。

● シラカバ
慰霊塔の横に白樺の林があります。「夏白樺に囁きて、ハイネの詩を口ずさむ…」(若人逍遥の歌)。戦争に散って行った学生達も、好みの詩を白樺に囁いたのでしょうか。

● ナナカマド
北海道を代表する樹木で、街路樹として小樽市内に数多く植えられています。落葉して赤い実だけが雪をかぶっている様子は、晩秋から初冬にかけての風物詩です。

● アカシア (ニセアカシア)
初夏、地獄坂を歩いていると、匂いたつアカシアの甘い香りに、ふと大きな木を仰ぎ見た経験があるのではないでしょうか。白い花と甘いこの香りが特徴的で構内にも見られます。

番外

● ポプラ
本号の表紙の古い写真の大木。同じく表紙の絵画に描かれているように、かつてはキャンパスに数多くありましたが、残念なことに、現在は数少なくなりました。



合宿研修施設の建替え決定!

創立百周年記念事業の一環として、合宿研修施設の建替えが決定しました。現在の合宿所は昭和49年に建てられたもので、以来、体育系、文化系の別を問わず、学生のサークル活動には欠かせない施設として利用されてきましたが、近年は老朽化が目立ち、建て替えを求める声が高まっていました。新しい合宿所は男女別のシャワー室・トイレを備える等、今や4割に達した女子学生にも配慮した施設に生まれ変わります。



▲解体工事がすすむ合宿研修施設

史料展示室をリニューアルします

小樽商科大学「史料展示室」をご存知でしょうか?平成14年に講義棟(3号館)の4階に設置され、高等商業学校時代の資料や旧校舎のジオラマ、卒業証書第一号や小林多喜二、伊藤整の著作といった、数々の貴重な遺品・資料を紹介してきましたが、創立百周年を機に、附属図書館3階に移転することになりました。リニューアル・オープンは平成22年4月以降を予定しており、学外の方も予約なしに自由に入室・観覧できるようになります。スペースも現在の2倍以上となり、さらに充実した展示をお楽しみ頂けるよう工夫に努めてまいりますので、どうぞご期待下さい。



▲旧史料展示室

創立百周年記念募金推進会議 発会式を開催

本学では創立百周年に向けて様々な記念事業を計画し、皆さまに応援の募金をお願いしているところですが、本学関係者のみならず広く市民の方々とともに百周年を祝いたいという本学の思いを理解いただき、さらなるご厚情を賜りますよう、学外の方々と本学の学生を加えた「創立百周年記念募金推進会議」を発足させました。

11月5日(木)には、学外から委員長に就任いただいた山田家正元本学学長をはじめ、教職員や学生約80名が出席して発会式を執り行いました。山田委員長からは「厳しい状況下にあり、大変な仕事ですが、大



▲山田家正推進会議委員長

学の使命である教育研究をアピールし、目標額達成のために一丸となって頑張りましょう」と挨拶があり、出席した教職員・学生も意を新たにしていました。

創立百周年記念 募金のお願い



創立百周年記念事業を推進するため、本学は皆様に、その趣旨へのご賛同とともに、ご支援ご協力を「小樽商科大学創立百周年記念募金」にてお願いしております。その目的は、①新学生寮の建設、②教育研究振興基金(仮称)の創設、③百年史編纂、④記念式典・記念講演・国際シンポジウムの開催、⑤学生企画による記念事業、⑥キャンパス美化等の環境整備事業となります。詳しくは、創立百周年記念事業推進室にお問い合わせ下さい。また、「募金趣意書」や本学HP内の専用ページ等も是非ご覧下さい。
(<http://www.otaru-uc.ac.jp/hsyomu1/100th/kihu.htm>)

【創立百周年記念事業推進室】〒047-8501 小樽市緑3丁目5番21号
TEL 0134-27-5492 FAX 0134-27-5493 E-mail ouc100nen@office.otaru-uc.ac.jp

【記念式典・祝賀会】平成23年7月8日(金)
場所: グランドパーク小樽

【緑丘百周年祭】平成23年
7月9日(土)・10日(日)
場所: 大学構内
9日(土) ①記念祝賀会・記念講演会
/学生・父母・卒業生・教職員を
中心とした各種イベント
②ホームカミングデー
/模擬講義・現役生 卒業生合同
部活等の各種イベント
10日(日) 市民・学生・教職員・卒業生に
よる各種イベント

平成23年を百周年の記念年間として、上記の他、講演会、国際シンポジウム、記念コンサート等、様々な事業を年間を通して開催する予定です。



Topics

ゆめぼーとライブ〈附属図書館主催イベント〉

第3弾「会計と歴史と言語」(久野光朗本学名誉教授)

第4弾「D.H. ロレンスと『チャタレー夫人の恋人』」(豊国孝本学名誉教授)

本年度、附属図書館では、本学名誉教授による市民向け講座「ゆめぼーとライブ」を企画しておりますが、ゲート、多喜二に続くライブ第3弾、第4弾を、それぞれ7月と10月の夕方6時より本学駅前プラザ「ゆめぼーと」にて開催しました。

7月16日(木)の第3弾では、久野光朗本学名誉教授(会計学)を講師に迎え、「会計と歴史と言語」と題して、会計の社会的・歴史的存在価値、コミュニケーション手段としての会計についてお話していただきました。

第4弾は10月13日(火)と29日(木)の二回にわたって開かれ、豊国孝本学名誉教授(英文学)が「D.H.ロレンスと『チャ

タレー夫人の恋人』」と題して、ロレンスの波乱万丈の生涯を紹介するとともに、原文を参加者の皆で音読して味わい、作品の現代的意義を考える講義となりました。

両講義とも受講者は定員の20名を大きく上回り、質疑応答も活発で、市民の方々の関心の高さがうかがわれました。本年度の「ゆめぼーとライブ」はこれで終了しますが、受講者の皆さまからは、「有意義な機会を作っていただきありがたい」、「定期的にプロジェクトを続けて欲しい」等、おかげさまで好評を得ることができました。来年度も開催する予定ですので、どうぞご期待ください。



▲久野光朗本学名誉教授



▲豊国孝本学名誉教授

ゆめぼーとライブ

- 第1弾
「ゲート『ファウスト』を
読みませんか」
中川勇治本学名誉教授
(平成21年1月～2月)
- 第2弾
「ノーマ・フィールドさんの
『小林多喜二』を読みませんか」
荻野富士夫本学教授
(平成21年4月～5月)

第8回「一日教授会」が開催されました

市民の皆様から商大に対する意見・要望をお聞きし、商大と地域との絆を深めることを目的に毎年開かれている「一日教授会」が、11月19日(木)、小樽経済センタービルで開催されました。8回目を迎えた今年のテーマは「小樽と小樽商科大学—地獄坂が結ぶ絆—」で、市民、学生、教職員等、約120名が出席しました。

1部では、まず山本真樹夫学長が「小樽と小樽商科大学」と題して、「2011(平成23)年に創立百周年を迎える小樽商科大学は、小樽市民の熱意と寄附により生まれ、育てられた大学です。百周年の記念事業は市民の皆様と共に祝いたい」と講演しました。続いて、ゲストスピーカーの小川原格氏(藪半代表取締役)に、市民から見た商大への提言をいただきました。小樽有数の日本そば屋を経営し、また小樽の観光カリスマとして活躍している小川原氏は、特に本学学生に期待を寄せて、「小樽の大人たちがどれだけ真面目に町づくりを考えているか、学生が持つ新鮮な目で見て疑問をぶつけてもらいたい」、「企画段階から、学生が小樽市民と一緒にプロジェクトをやってもらいたい」と話されました。

こういった期待に応え、2部の意見交換会では、「本気プロ」、「小樽笑店」、「(株)シーナ」といった、商大生が小樽で実施しているプロジェクトの報告がなされました。「本気プロ」とは「商大生が小樽の観光や活性化について本気で考えるプロジェクト」の略で、授業の一環として行われています。「小樽笑店」はボランティア精神を持って学生らしいイベントを企画し、地域の活性化を目指す学生のサークル活動です。また、「(株)シーナ SEA-NA」は商大生が起業した会社で、小樽の魅力を発信することをコンセプトに、インターネット広告やホームページの製作、運営を行っています。こういった地元小樽と関係する学生たちの活動には、出席した市民やOBから多くの質問や意見、励ましを頂きました。また、学長からは小樽にもっと多くの学生が住むように、百周年を機に学生寮を建設することが報告され、市民と大学の絆が大いに深まった一日教授会となりました。



▲意見交換会の様子



商大図書館学外開放のご案内

商大図書館 TEL 0134-27-5273
開館時間【通常期間】/ (月～金) 8:45～22:00、(土) 10:00～19:30、(日・祝) 10:00～17:00

〃 【休業期間】/ (月～金) 8:45～17:00、(土・日・祝) 10:00～17:00

NEWS

小樽商科大学地域研究会が発足しました

代表 穴沢 眞 商学科教授

平成21年4月に小樽商科大学地域研究会を立ち上げました。全体の研究テーマは「グローバリズムと地域経済」です。このテーマを設定した理由は、経済のグローバル化が進むなか、北海道経済が様々な痛みを感じる現状を研究者の視点で冷静に観察し、何らかの対応策を示す必要があると考えたからです。

地域研究会は30名を超える本学の教員に加え、新規に採用された3名の学術研究員からなる、本学としては最も規模が大きく、しかも多彩な研究分野を包摂した研究会です。最近、研究の細分化が進み、比較的近い分野についてもなかなかその内容を十分に理解することが難しくなっています。狭い範囲の専門的な研究はもちろん大事ですが、様々な研究分野を含んだ、広い視点からの研究を進めることも大事で、これがこの研究会の目的の一つでもあります。



▲シンポジウムの様子

また、本学の研究者と外部の方々との連携を強めることも重要と考えています。そのために、研究会や研究活動は学内だけではなく、広く学外に対してもオープンに行きたいと思います。8月には韓国サムスン経済研究所顧問鄭求鉉氏をお呼びして札幌サテライトで市民向けのシンポジウムも開催しました。

これからもシンポジウムやセミナーなどを通じて積極的に地域の方々と問題意識を共有し、北海道が直面する問題について提言して行きたいと思います。

地域研究会URL http://room409-1.ih.otaru-uc.ac.jp/~g_h/

学術研究員の紹介

現在、金融分野には神崎稔章^{かんざきとしあき}研究員と渡久地朝央^{とくちあさちか}研究員、財政分野には石田三成^{いしだみつなり}研究員の3人がおります。神崎研究員は北海道の金融システムを貯蓄・投資のマクロ・バランスという視点から研究しております。渡久地研究員は環境評価を専門としており、北海道の農村の街づくり、景観評価に取り組んでいます。石田研究員は地方財政、地方交付税の問題をマクロ的アプローチによって解明しようとしています。3人とも専門領域は異なっていますが、北海道の活性化の一翼を担う研究に精力的に取り組んでおり、その成果は着々と実を結んでいます。



左から渡久地研究員、神崎研究員、石田研究員

プレ創立100周年記念事業 シニアアカデミー2009 を開催しました

去る9月1日から4日間、『商学の学びと小樽探求—歴史・文化・観光—』と題するシニアアカデミーを開催しました。これは学習意欲の旺盛な団塊・シニア世代を対象とする体験型生涯学習プログラムで、プレ創立100周年記念事業として企画され、小樽市との共催で実施されました。内容は右記のとおりで、本学教員や小樽で活躍する企業の方々による講義と、それに連動するフィールドワークとから構成されており、道内のみならず東京、京都、横浜などから卒業生6名を含む17名の方々が参加しました。

期間中は天候にも恵まれ、小樽観光の穴場や、小林多喜二、伊藤整ゆかりの地を訪れた参加者は、日帰り観光では知り得ない小樽の歴史・文化について知見を深めました。「小樽観光や小林多喜二らについて断片的だった知識が歴史的背景も含めて一つにつながった」等、参加者の評判も上々で、市とも協力し、来年も継続して開催する予定です。



▲フィールドワーク2の多喜二墓参り



▲講義2の様子

- 1日目 【講義1】商学の学びI「地域のマーケティング」
【講義2】地元企業からみた小樽（経済）
- 2日目 【講義3】小樽の歴史・文化・観光そして小樽学
【フィールドワーク1】
運河周辺の散策、鯉御殿、博物館、金融資料館、市内酒蔵の視察等
- 3日目 【講義4・5】小林多喜二と伊藤整
【フィールドワーク2】
小林多喜二文学碑・伊藤整文学碑の見学、文学館視察、多喜二墓参り等
- 4日目 【講義6】商学の学びII「北海道・小樽の中小企業論」
【講義7】小樽の観光についての意見交換会



商大生頑張ってます!

商大の学生は、キャンパスの内外でユニークな活動を行っています。今回は、オリジナル商品の企画開発、「世界一のクリスマスツリー」プロジェクト、将棋学生名人戦で注目を集めた3名から寄稿していただきました。

学生オリジナル商品開発 ～UNIV.COOPビジネスセミナー～

商学科3年 伊藤 翔太



前列左から3人目が伊藤翔太君

UNIV.COOPビジネスセミナーとは、北海道の大学生協が主催している実践型インターンシップです。通称BSと呼ばれ、今年で5年目を迎える北海道の大学生協オリジナルの取り組みです。活動内容は「大学生協の店舗」というフィールドにおいて、マーケティング・商品企画開発・宣伝・広報・営業・販売・検証という一連のビジネスプロセスを半年間かけて体験するというものです。今回は、北海道の大学生協と取引企業様のバックアップの下で、私たち商大生協学生委員会が企画開発したおにぎり、調理パン、スイーツ5商品を、今年10月1日より1カ月限定で、北海道内の各大学生協店舗にて販売しました。

このインターンシップを通して、様々な人に出会い、貴重な経験をし、たくさんのことを学びました。この学んだことを今後の生活で活かしていきたいです。協力して下さいました皆様、本当にありがとうございました。



世界一への挑戦を全国に発信! ～経済産業省主催「地域若者チャレンジ大賞」銅賞受賞～

経済学科4年 佐藤 由衣



テレビ塔展望室から見た光のクリスマスツリー

私が、札幌の大通公園を世界一のクリスマスツリーにする、NOLE2008というイベントを企画・運営するインターンシップに参加したきっかけは、「多くの人と繋がり、新たなことに挑戦したい」という思いからでした。そうして始まった私の挑戦は、自分達で考え、自分達で動くということの大変さを痛感した日々でもあり、何度も壁にぶつかっては乗り越えた喜びを味わう、充実した日々でもありました。そして迎えた今年のクリスマスには、約3,000人の協力のおかげで、「テレビ塔展望室から見える大通公園をみんなで世界一大きなクリスマスツリーにしよう」というこのイベントを成功させることが出来ました。

その後、今年の夏、皆様の代表として「地域若者チャレンジ大賞」に出場し、全国に向けて世界一への挑戦を発表できる機会を与えてもらい、銅賞を頂くことが出来ました。また、様々な地域で、様々なチャレンジをしている学生の話を生で聞くことが出来るということは、刺激となり、また、インターンシップから始まった自分の挑戦が、ここまでの広がりを見せたことに感動し、多くの人と繋がったことでこのような機会に恵まれたことに本当に感謝しました。ご協力してくださった皆様、本当にありがとうございました!



中央が佐藤由衣さん

全日本学生将棋連盟主催「将棋学生名人戦」で優勝!

社会情報学科2年 武田 浩司



私は2009年5月に東京で行われた、第65回将棋学生名人戦の個人戦全国大会で優勝しました。商大生では11年前の金内辰明さん以来の優勝です。出場した時は一勝するのが目標だったので、優勝した時はなかなか実感がわきませんでした。帰ってきてから新聞や雑誌の取材申し込みがあり、とてもびっくりしました。今回私が優勝したのも家族や部の仲間の支えがあったからだと思います。とても感謝しています。現在私が所属している囲碁・将棋部の目標は団体戦の全道優勝です。今年は春・秋大会ともに準優勝で全国大会まであと一歩でした。来年は優勝できるよう部員一同頑張ります。

今回私は個人戦全国大会優勝という最高の結果を得ることができましたが、これに慢心することなくこれからも頑張っていきたいと思います。



2009年5月26日(北海道新聞)

INFORMATION

平成22年度 入学試験日程のお知らせ

●商学部（昼間コース・夜間主コース）

選抜区分	コース	出願期間	選抜期日	合格発表
推薦入学	夜間主	21.11.2 (月) ～11.9 (月)	21.11.21 (土)	21.12.3 (木)
社会人特別選抜				
推薦入学	昼間	22.1.14 (木) ～1.21 (木)	センター試験と書類審査	22.2.8 (月)
帰国子女・中国引揚者等子女・ 私費留学生特別選抜			22.2.11 (木)	22.2.18 (木)
専門高校・総合学科卒業生選抜	昼間	22.1.25 (月) ～2.3 (水)	22.2.25 (木)※	22.3.8 (月)
一般選抜（前期日程）	昼間・夜間主		センター試験と書類審査	22.3.23 (火)
一般選抜（後期日程）	昼間			

※東京にも試験場を設置します。

●大学院商学研究科（アントレプレナーシップ専攻・現代商学専攻）

選抜区分	出願期間	選抜期日	合格発表
アントレプレナーシップ専攻 （組織推薦・指定日選抜）	21.11.16 (月) ～11.26 (木)	21.12.13 (日)	21.12.17 (木)
アントレプレナーシップ専攻	22.1.4 (月) ～21.1.14 (木)	22.1.31 (日)	22.2.12 (金)
現代商学専攻 【博士前期課程】【博士後期課程】	21.12.21 (月) ～22.1.7 (木)	22.1.30 (土) ～1.31 (日)	22.2.12 (金)

学生募集要項の請求方法など

入学試験に関するお問い合わせは、次の担当までお願いします。
入試課入学試験係 TEL 0134-27-5254

E-mail nyushi@office.otaru-uc.jp

■商学部入学試験に関する情報：http://www.otaru-uc.ac.jp/hnyu1/

■アントレプレナーシップ専攻に関する情報

：http://www.otaru-uc.ac.jp/master/bs/index.htm

■現代商学専攻に関する情報：http://www.otaru-uc.ac.jp/master/gs/gs.html

国際交流週間を開催

小樽商大は13ヶ国、計19の大学と協定を結び、現在約70名の留学生が本学で学んでいます。国際交流センターは、毎年「国際交流週間」を設けて、言葉も文化も異なる様々な国々からやって来た留学生と、本学の学生、教職員



▲国際交流パーティーで談笑する留学生

および地域の方々との交流を促進してきました。今年10月24日（土）から30日（金）にかけて行われ、各国の文化紹介パネル展やスポーツ大会、ちぎり絵制作といった催しを通して、お互いの国について理解を深めました。最終日の「文化交流会 わたしのお国自慢」、「国際交流パーティ」には約150名もの参加者があり、民族衣装に身を包んだ留学生や、ハロウィーンにちなんで仮装した参加者が、会場の雰囲気の大いに盛り上げていました。

■提携校一覧

【ニュージーランド】オタゴ大学 【オーストラリア】ウーロンゴン大学 【アメリカ】ウェスタンシガン大学、オグレスープ大学、サウスダコタ大学、ミュンヘンバーク大学 【韓国】忠南大学、成均館大学校 【中国】東北財経大学、蘭州大学 【ドイツ】パイロイト大学、ベルリン経済法律大学 【フランス】ボール・セザンヌ大学/エクス=マルセイユ第三大学 【ロシア】ロシア極東国立総合大学 【オーストリア】ウィーン経済大学 【イギリス】シェフィールド大学 【アイスランド】ビフロスト大学 【スペイン】ブルゴス大学 【ベトナム】ベトナム国家大学ホーチミン市国際大学

市民モニターを募集します

本学の活動について広く市民の皆様にご意見を伺い、改善に役立てるため、市民モニターを募集することになりました。広報誌をはじめとする情報発信へのアドバイス、大学の事業についてのアンケート、意見交換会への出席などを通じて、忌憚のないご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。募集要領の概要は以下のとおりです

●応募資格/北海道内に居住している方で、本学に関心のある16歳以上の方

●募集人員/30名程度

●委嘱期間/平成22年3月1日

～平成23年3月31日

●応募締切/平成22年1月31日

※モニターの方には、期間終了後に些少ですが記念品をお贈りいたします。

詳細については本学ホームページをご覧ください。総務課総務係までお問い合わせ下さい。

http://www.otaru-uc.ac.jp/hsyomu1/kouhou/monita211201.html

TEL 0134-27-5206・5207 FAX 0134-27-5213

E-mail shomu@office.otaru-uc.ac.jp

小樽駅構内に電飾広告



小樽駅構内に小樽商科大学の電飾広告を掲示しています。すでにお気づきの方も多いと思いますが、山本眞樹学長の全身が目を引くデザインです。「百年の伝統ある小樽商大」をアピールしています。

学生や先生の活動、イベント、学内の風景等をブログで毎日好評更新中！



http://d.hatena.ne.jp/shoudai-kun/

編集後記

今号の特集は、記念植樹を睨んだ、花と樹木の選定です。番外ではあるものの、ポプラには委員の間で高い関心が寄せられ、その大木の写真を大学昇格後の第1回卒業アルバム（昭和28年）から表紙に選んだ。今、構内にはこれほど大きなものはないが、昭和22年卒業生一同が植樹された一対のポプラがすすくと大きくなっている。いつ表紙のような大きなポプラを見られるか、今から楽しみだ。（KY）

編集スタッフ 尾形弘人、山本賢司、上野耕三郎、堺昌彦

【ご意見・ご要望のお願い】

広報委員会では、読者の皆様のご意見・ご要望をもとに、より良い広報誌を作成する所存です。取り上げてほしい話題、質問したいことなど何でも結構です。下記にお寄せください。

E-mail kouhou@office.otaru-uc.ac.jp FAX 0134-27-5213

http://www.otaru-uc.ac.jp

ヘルメス(Hermes)は、ギリシャ神話の神の一人で伝令の神、また商業、学術などの神、クーリエ(courier)とはフランス語で郵便物のことですが「～通信」として新聞紙名等に用いられています。ですから「ヘルメス・クーリエ」とは「商大通信」とであるとご理解ください。

